

令和2年度
渡嘉敷村観光誘客受入委託業務
報告書

令和3年3月
渡嘉敷村

目次

◆業務概要	2
◆業務実績スケジュール	3
1. 観光受入体制整備	
（1）「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務	
①ガイド育成セミナーの企画運営	5
②アンケート調査（来島者向けアンケート調査・WEBアンケート調査）	32
（2）「渡嘉敷村ビーチ利用ルール協議会の企画運営」業務	70
（3）「集落内看板制作設置」業務	91
（4）「受入支援ツール基礎資料制作」業務	98
2. 観光誘客業務	
（1）「ターゲットごとに有効な誘客施策」（PR動画制作）	99
（2）「イベント出展等のサポート 体制・サポート内容」	
①10月ツーリズムEXPOジャパン（沖縄）	105
※11月離島フェア（沖縄）※オンラインにて実施	
（3）「観光PRツールの制作及び活用方法」	106
①とかしき島MAP（日本語）	107
②とかしき島MAP（多言語）	109
③ポストカード	111
④村PR用ノベルティ（マスク、トートバッグ）	112
⑤A2ポスター	112
⑥女子旅折込チラシ	114
（4）「渡嘉敷村既存の観光関連コンテンツ（デジタルコンテンツ）の活用方法」	115
3. 渡嘉敷村観光振興計画	
①渡嘉敷村観光振興計画進行管理調査	116
②ヒアリング結果報告書	117

◆業務概要

■ 事業目的・業務背景

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人を超える 観光客が足を運ぶ人気の観光地である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の 国立公園に指定されたことにより、島を訪れる観光客が年々増加する傾向にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、今まで以上に外国人観光客の受入推進が求められている。今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 年）」を策定した。

本事業では、平成 29 年に策定した「渡嘉敷村観光振興計画」に基づいて、村の観光客受入体制強化を推進するとともに、狙うべきターゲットを設定し、それぞれのターゲットに適した観光誘客施策を実施する。

事業の提案については、観光振興計画 P30「3-3基本施策と取組みの体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果について明記する。また、企画提案及び事業の実施体制については、新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大による影響等も十分に留意した上で実施する。

■ 業務内容

契約期間：令和2年7月1日（水）～令和3年3月12日（金）

履行場所（主管箇所）：渡嘉敷村 観光産業課

1. 観光受入体制整備

- ・「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務
- ・「渡嘉敷村ビーチ利用ルール協議会の企画運営」業務
- ・「集落内看板制作設置」業務
- ・「受入支援ツール基礎資料制作」業務

2. 観光誘客業務

- ・「ターゲットごとに有効な誘客施策」（PR動画制作）
- ・「イベント出展等のサポート体制・サポート内容」
- ・「観光PRツールの制作及び活用方法」
- ・「渡嘉敷村既存の観光関連コンテンツ（デジタルコンテンツ）の活用方法」

3. 渡嘉敷村観光振興計画進行管理調査業務

<実施方針>

地域事業者（住民）との連携・協働した新たな受入体制整備と
質の高い誘客施策を通して、
渡嘉敷村の魅力・価値を100年に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

■ 業務実績スケジュール

業務内容		令和2年度																													
		6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
0 契約					契約期間(想定): 令和2年7月1日～令和3年3月12日																										
1 契約関連(締結事務手続き等)																															
2 契約関連(精算業務等)																															
1 観光受入体制整備																															
1 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務 ①ガイド育成セミナー ②アンケート調査 ・来島者向けアンケート ・WEBアンケート					セミナー開催(各種調整、事前準備)																										
2 「渡嘉敷村ビーチ利用ルール協議会(仮称)の企画運営」業務																															
3 「集落内看板制作設置」業務																															
4 「受入支援ツール基礎資料制作」業務																															

※「2.観光誘客業務」、「3.渡嘉敷村観光振興計画」、「4.実施計画書、実績報告書、支払関係及び事業完了報告書の作成業務」については、次ページを参照ください。

1. 観光受入体制整備

「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

■ 業務実績スケジュール

業務内容	令和2年度																													
	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
2 観光誘客業務																														
1 「ターゲットごとに有効な誘客施策」 ⇒PR動画制作																														
2 「イベント出展等のサポート体制・サポート内容」																														
7月→8月 マリンダイビングフェア (東京) ※イベント中止																														
10月 横浜チャムレーカーニバル (神奈川)																														
10月 ツーリズム EXPO ジャパン (沖縄)																														
11月 北海道旅行博 (北海道)																														
11月 離島フェア (沖縄)																														
11月 アイランダー (東京)																														
2月 福岡トラベーズフェス (福岡)																														
3 「観光PRツールの制作及び活用方法」																														
とかしき島MAP(日本語) ⇒1/26付、制作部数削減																														
とかしき島MAP(多言語) ⇒11/1付、英語版のみ制作。																														
PP袋 ⇒10/1付、ファイルde「バッグ」へ制作変更。 ⇒1/26付、ファイルde「バッグ」の制作見送。																														
PRうちわ																														
ポストカード ⇒1/26付、制作部数削減。																														
とかしきマラソン用PP袋 ※7月16日時点、イベント中止決定。 ⇒10/1付、女子熊折込みチラシへ制作変更。 村PR用ノベルティ (マスク、トートバッグ) ⇒10/1付、マスク、トートバッグの増刷。 ⇒1/26付、増刷の見送。																														
A2ポスター																														
A4クリアファイル ⇒10/1付、ファイルde「バッグ」へ制作変更。 ⇒1/26付、ファイルde「バッグ」の制作見送。																														
4 「渡嘉敷村既存の観光関連コンテンツ (デジタルコンテンツ) の活用方法」																														
3 渡嘉敷村観光振興計画																														
1 渡嘉敷村観光振興計画進行管理調査																														
4 実施計画書、実績報告書、支払関係及び 事業完了報告書の作成業務																														
1 実施計画書の作成																														
2 実績報告書の作成																														
3 支払関係及び事業完了報告書の作成																														

※「0.契約」、「2.観光受入体制整備」については、前ページを参照ください。

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

(1) 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

① ガイド育成セミナーの企画運営

■ 業務実施内容

渡嘉敷村における観光ガイドの現状、訪島観光客のニーズを調査し、観光ガイドの育成の繋がるようなセミナー（3回以上）を実施。セミナーで実施した内容が、より多くの島内事業者によって積極的に活用されるよう、実用的な内容になるように工夫を図った。また、セミナーで実施した内容、島民・観光客の調査結果を1冊の冊子にまとめ、基礎資料を作成した。

第一回 渡嘉敷村ガイド育成セミナー ～東村の取組を肴に、地域づくりと観光について語らう～

日時：令和2年12月26日（土）14：00～20：30

場所：渡嘉敷村役場 2 階大会議室

話題提供者：ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 代表 小林 政文
やんばる自然塾代表取締役社長 島袋 裕也

全体司会：株式会社JTB沖縄 山城 栄（運営事務局）

【第一部 14:00～17:30 ワークショップ形式】

1. セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明
3. 小林氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
4. 質疑応答・振り返り等

【第二部 19:00～20:30 事例紹介・ワークショップ形式】

5. 第二部セミナー開会
6. 島袋氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
7. 質疑応答・振り返り・本日のまとめ等
8. 運営事務局より事務連絡等
9. セミナー閉会

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【セミナー開催案内チラシ】

令和2年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

村民皆様が対象！！

渡嘉敷村ガイド育成セミナーの開催について

～東村の取組を肴に、地域づくりと観光について語らう～

写真：渡嘉敷村役場より引用

◆ ホールアース自然学校の小林氏を招いてのセミナーを開催します。

平成26年3月5日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で31番目の国立公園に指定されました。これは日本を代表するすばらしい自然が存在するという証であり、大変名誉なことです。これからは観光地として注目される渡嘉敷村において、村民の方々とともに観光によるまちづくりや自然環境の保全に努める必要があります。その取組の一環として、観光と持続可能なまちづくりの実践に向けて、対話形式のセミナーを開催いたします。村民の皆様 事業者の皆様 ご参加をお待ちしております。

◆ 開催日時

日時：令和2年12月26日（土）
時間：14：00～20：30予定（2部形式）
※ご都合の良い時間での参加も大歓迎！
※休憩を挟みながらのセミナーです。
開催場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

◆ 内容

- ・ガイドという仕事とその役割について
- ・環境問題と取組実践方法について
- ・沖縄県東村（島袋氏とオンラインにて）の取組に関する講話

話題提供者



小林 政文（こばやし まさふみ）
ホールアース自然学校沖縄校
がじゅまる自然学校 代表

ジャパンアウトドアリーダーズアワード2018で優秀賞を受賞するなど地域とガイドをつなぐ活動に取り組む。

～お申し込み、問い合わせ先～

株式会社JTB沖縄 交流営業部 交流営業課 山城、眞榮城
098-860-7704 s_yamashiro@okw.jtb.jp もしくは s_maeshiro@okw.jtb.jp

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

1. 次第

令和2年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

第一回 渡嘉敷村ガイド育成セミナー

～東村の取組を肴に、地域づくりと観光について語らう～

セミナー進行次第

日時：令和2年12月26日（土）14：00～20：30

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

【第一部 14:00～17:30 ワークショップ形式】

1. セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明
3. 小林氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
4. 質疑応答・振り返り等

【第二部 19:00～20:30 事例紹介・ワークショップ形式】

5. 第二部セミナー開会
6. 島袋氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
7. 質疑応答・振り返り・本日のまとめ等
8. 運営事務局より事務連絡等
9. セミナー閉会

話題提供者：小林 政文（こばやし まさふみ）

ホールアース自然学校沖縄校
がじゅまる自然学校 代表

島袋 裕也（しまぶくろ ゆうや）
やんばる自然塾代表取締役社長

司会：山城 栄（やましろ さかえ）
運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【配布資料】

1. 本次第
2. セミナータイムスケジュール
3. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）
4. 「エコツーリズムと地域振興」資料（やんばる自然塾提供）

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

2. セミナータイムスケジュール

渡嘉敷村ガイド育成セミナーの開催について
～東村の取組を肴に、地域づくりと観光について語らう～

12/26（土）第一部 14:00～17:30予定 ワークショップ形式
がじゅまる自然学校・小林氏によるセミナー

時間	Lap	セミナー内容
14:00 ～ 14:10	10	自己紹介、今日の目的、今日の流れ
14:10 ～ 14:20	10	ペーパータワー（説明4分、会議5分、実施1分）※1
14:20 ～ 14:35	15	4つの窓（名前や所属、普段の活動、参加理由）
14:35 ～ 14:45	10	ガイドとはどんな仕事か？
14:45 ～ 14:50	5	ガイドの役割&ふりかえり
14:50 ～ 15:00	10	休憩
15:00 ～ 15:15	15	環境問題ブレスト
15:15 ～ 15:20	5	環境問題について調べる
15:20 ～ 15:30	10	環境問題の解決方法
15:30 ～ 15:40	10	意図開き
15:40 ～ 15:50	10	休憩
15:50 ～ 15:55	5	旅とは
15:55 ～ 16:05	10	情報発信と環境保全
16:05 ～ 17:05	60	ワールドカフェ ※2
17:05 ～ 17:30	25	ふりかえり

12/26（土）第二部 19:00～20:30予定 事例紹介・ワークショップ形式
やんばる自然塾・島袋氏によるセミナー

時間	Lap	セミナー内容
19:00 ～ 19:15	15	事業の説明・午前の共有
19:15 ～ 19:45	30	島袋氏講話
19:45 ～ 20:00	15	グループ共有
20:00 ～ 20:15	15	質疑応答
20:15 ～ 20:30	15	ふりかえり

※1：ワールド・カフェとは、その名のとおり『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法の一つ。

※2：ペーパータワーとは、あらゆるジャンルの企業において、人材育成を目的とした研修に広く採用され、大まかな内容としては、20～30枚の紙を使用してタワーを作成し、その高さを複数のチームで競う中で、チーム内の一人一人が主体性を持ち、多様性を発揮できる場作りの手法の一つ。

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

3. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の背景、目的

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人を超える **観光客が足を運ぶ人気の観光地**である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の**国立公園に指定**されたことにより、**島を訪れる観光客が年々増加する傾向**にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした**「国立公園満喫プロジェクト」に選定**され、今まで以上に**外国人観光客の受入推進が求められている**。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、**持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 ヵ年）」を策定**した。

本事業では、平成 29 年に策定した「渡嘉敷村観光振興計画」に基づいて、村の**観光客受入体制強化を推進**するとともに、狙うべきターゲットを設定し、それぞれの**ターゲットに適した観光誘客施策を実施**する。事業の推進については、観光振興計画 P30「3-3基本施策と 取組み の体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果を鑑み実施する。

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の実施方針

**地域住民（地域事業者含む）と連携・協働した新たな受入体制整備と
質の高い誘客施策を通して、地域づくりを基軸に
渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む**

■ 今後のセミナー、協議会開催予定

- | | |
|-----------|---|
| 2021年1月下旬 | ・第二回渡嘉敷村ガイド育成セミナー
（陸域での観光のニーズと実施方について ～西表島と沖縄本島の事例から～）
・第一回渡嘉敷村ビーチ利用協議会 |
| 2021年2月以降 | ・第三回渡嘉敷村ガイド育成セミナー／村民向け受入体制・支援セミナー |

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

4. 「エコツーリズムと地域振興」資料（やんばる自然塾提供）

【エコツーリズムと地域振興】

住民主導のエコツーリズムで地域活性化

やんばる（山原）とは、緑豊かな亜熱帯の森が広がり貴重な動植物が棲んでいる沖縄本島北部地域のことで、東村は県都那覇市から約 90Km、所要時間が約 2 時間かかりパインアップル栽培のさかんな人口約 1,900 人の農村である。又やんばる自然塾の活動拠点である慶佐次（げさし）区は慶佐次川の河口に位置する 50 戸余り、人口は約 180 人の小さな集落である。河口の汽水域には沖縄本島最大のマングローブが広がりその植物群落は『慶佐次湾のヒルギ林』として国の天然記念物に指定されている。

やんばる自然塾が設立された頃の慶佐次地区は純農村で若者の働く場が農業以外にも過疎化が進み観光事業や飲食業などの観光サービス業はほとんどなかった。慶佐次地区で地域おこしの取り組みが始まったのは『夢つくり 21 委員会』が出来た平成 7 年からである。メンバーは当時区長であった私を含め 8 人、農家が中心で会社員、団体職員、公務員など地域づくりに積極的に発想が前向きな人たちで、名称は立派だが活動はというと、最初は夢を語り、ホラを吹く会でヒルギ林の活用など地域資源や人材の掘り起こしなどをおこないその中から地域を活性化するにはどうするか議論をしていた。それがやんばる自然塾に受け継がれたゼロからのスタートであった、そして平成 11 年 5 月にできた東村エコツーリズム協会の設立にも影響を与えたのである。

平成 11 年 4 月に東村で初の自然学校『やんばる自然塾』が誕生した。地域活性化をめざし①地域主導、②環境の保全、③ホスピタリティなどエコツーリズムの基本理念に基づいてスタートしたが、スタッフは私 1 人である。カヤックは地域の人たちがオーナーにり 10 艇を購入した。最初に出来たプログラム『慶佐次川マングローブの森カヌー体験』（所要時間 3 時間）を中心に人数を制限し 8




①

【エコツーリズムと地域振興】



名まで、環境に配慮し満潮時のみ催行するエコツアーとして少人数対応の受け入れが始まった。2 年目になると県外高校の修学旅行の受け入れや県内各種団体や小学生の体験学習などが少しずつ増えてきた。平成 15 年 7 月には組織が法人になり、現在スタッフは常勤が 12 名、非常勤 5 名、また体験プログラムは個人向けエコツアー（6）、修学旅行・グループ向け（10）、合わせて 16 になった。平成 18 年の実績は修学旅行 300 校、各種団体 60 団体、エコツアーなど個人客の 5,000 名を含めて体験者は 20,000 名余りになった。また東村ふれあいヒルギ公園で慶佐次のマングローブを訪れる観光客は約 10 万人余りになった。

現在の慶佐次地区は活気にあふれている。慶佐次川を利用したエコツアー事業者は村内に 6 社誕生し、旅行者が増えたことにより地区唯一の慶佐次共同売店・農産物販売所では採りたてのパインアップルや野菜が売れ、食堂、弁当仕出しなどの飲食店も数軒でき、観光農園やコテージ型宿泊施設の交流施設も数軒営業を始めた。やんばる自然塾の修学旅行プログラムは地域の若者がガイドを中心に活動を行っているが、特産のパインアップルを使った農業体験&ジャム作り、家庭料理体験などで地域の人々が講師など協力・連携をするようになった。

最後に地域での課題を探ってみた。①人材育成（ガイド養成、スキルアップセミナー、先進地研修）、②環境保全や資源の利活用のためのルールづくりとゾーニング（人数の制限、フィールド、拝所、集落内など）、③環境問題（ゴミ、文化・歴史、自然資源の保護とモニタリング）、④地域の人々への配慮、⑤地域ネットワークづくり（地域循環型）、⑥行政との関係（役割の明確化、パートナーシップの確立）などがあげられる。



②

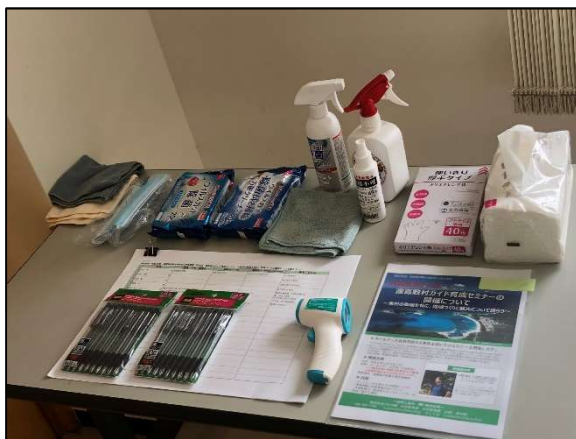
【第一回渡嘉敷村ガイド育成セミナー 参加者名簿】

	氏名	団体・企業・組織名	備考・その他	第一部	第二部
1	個人情報のため お名前等はふせております。			○	○
2				○	
3				○	○
4					○
5				○	○
6				○	
7				○	○
8				○	
9				○	
10				○	
	合計			9名	5名
	延べ合計			10名	

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【会場設営の様子】



【セミナーの様子】



1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

第二回 渡嘉敷村ガイド育成セミナー

～名護市や西表島の陸域体験観光の事例共有、取組方について～

日時：令和3年1月26日（火）13：30～20：30

場所：渡嘉敷村中央公民館 1階ホール

話題提供者：ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 代表 小林 政文
くまのみ自然学校 伊谷 玄

全体司会：株式会社JTB沖縄 山城 栄（運営事務局）

【第一部 13:30～16:30 ワークショップ形式】

1. セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おさき のりお）より事業概要説明
3. 小林氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
4. 質疑応答・振り返り等

【第二部 19:00～20:30 事例紹介・ワークショップ形式】

5. 第二部セミナー開会
6. 伊谷氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
7. 質疑応答・振り返り・本日のまとめ等
8. 運営事務局より事務連絡等
9. セミナー閉会

【セミナー開催案内チラシ】

令和2年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

村民皆様が対象！！

第二回 渡嘉敷村ガイド育成セミナーの開催について

～名護市や西表島の陸域体験観光の事例共有、取組方について～

◆ ホールアース自然学校の小林氏、くまのみ自然学校の伊谷氏を招いてのセミナーを開催！

平成26年3月5日「サンゴの日」に渡嘉敷村と西表島が指定された。これは日本を代表する「自然」が存在するということ証であり、大賞を贈るに値する。これらも観光地として注目される渡嘉敷村において、村民の方々とともに観光によるまちづくりや自然環境の保全に努める必要が迫ります。その取組の一環として、観光と持続可能なまちづくりの実現に向けて、対話形式のセミナーを開催いたします。村民の皆様、事業者の皆様、ご参加をお待ちしております。

◆ 開催日時

日時：令和3年1月26日（火）

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

時間：14：00～17：00予定

※新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で、開催いたします。

◆ 内容（予定）

- ・現状の共有（現状のルールが生まれた経緯等）
- ・ルール内容の協議（グループ、全員での議論等）

◆ 講師

小林 政文（こばやし まさふみ）
ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 代表

伊谷 玄（いぐ げん）
くまのみ自然学校を設立後、西表島の環境教育や地域づくりに関連する主な施設や組織の立ち上げから携わり、環境教育、エコツーリズム、自然環境の利用と保全、地域づくりに取り組んでいる。

◆ 申込方法や問い合わせ先については、裏面をご確認ください。

令和2年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

渡嘉敷村ビーチ利用ルール協議会の開催について

◆ 開催概要

渡嘉敷村では昨年度、「阿波連ビーチ注意喚起看板」を制作する上で、「阿波連ビーチの遊泳ルール（遊泳監視エリア・ライフジャケットの着用も含む）」を村民との話し合いのもと、整理しました。今年度は「渡嘉敷久比ネの利用」についてのビーチ利用ルール協議会を開催し、ルールを整理、注意喚起看板を制作します。村内事業者の皆様はじめ、村民皆様の協議会のご参加をお待ちしております。

◆ 開催日時

日時：令和3年1月27日（水）

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

時間：14：00～17：00予定

◆ 協議会進行役

小林 政文（こばやし まさふみ）
ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 代表

ジャパンアウトドアリーダーズアワード2018で優秀賞を受賞するなど地域とガイドをつなぐ活動に取り組む。

◆ 申し込みフォーム

■ 1/26（火）開催 第二回 渡嘉敷村ガイド育成セミナーへのご参加

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

■ 1/27（水）開催 渡嘉敷村ビーチ利用ルール協議会へのご参加

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

◆ 2月以降のセミナー予定情報：第三回 渡嘉敷村ガイド育成セミナー

◆ 開催日時

日時：令和3年2月17日（水）・18日（木）の2日間

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

内容：ホールアース自然学校・小林氏の進行による対話形式セミナーとフィールドワークを予定

～お申し込み、問い合わせ先～

株式会社JTB沖縄 交通営業部 交通営業課 山城、長原 098-860-7704 s.yamashiro@okw.jtb.jp

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

1. 次第

令和2年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

第二回 渡嘉敷村ガイド育成セミナー

～名護市や西表島の陸域体験観光の事例共有、取組方について～

セミナー進行次第

日時：令和3年1月26日（火）13：30～20：30

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

※参加人数で変更になる場合あり

【第一部 13:30～16:30 ワークショップ形式】

1. セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明
3. 小林氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
4. 質疑応答・振り返り等

【第二部 19:00～20:30 事例紹介・ワークショップ形式】

5. 第二部セミナー開会
6. 伊谷氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
7. 質疑応答・振り返り・本日のまとめ等
8. 運営事務局より事務連絡等
9. セミナー閉会

話題提供者：小林 政文（こばやし まさふみ）
ホールアース自然学校沖縄校
がじゅまる自然学校 代表

伊谷 玄（いたに げん）
くまのみ自然学校

司会：山城 栄（やましろ さかえ）
運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【配布資料】

1. 本次第
2. セミナータイムスケジュール
3. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）
4. くまのみ自然学校のプログラム資料

※その他、当日追加になる場合もございます。

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

2. セミナータイムスケジュール

第二回 渡嘉敷村ガイド育成セミナーの開催について
～名護市や西表島の陸域体験観光の事例共有、取組方について～

令和3年 1/26（火）第一部 13:30～16:30予定

事例紹介・ワークショップ（ワールド・カフェ）形式 ※1

がじゅまる自然学校・小林氏によるセミナー

時間	Lap	セミナー内容
13:30 ～ 13:40	10	自己紹介、今日の目的、今日の流れ
13:40 ～ 13:50	10	ペーパータワー（説明4分、会議5分、実施1分）※2
13:50 ～ 14:00	10	4つの窓（名前や所属、普段の活動、参加理由）
14:00 ～ 14:15	15	第一回セミナーの共有 ～ガイドとはどんな仕事か？ガイドの役割について等～
14:15 ～ 14:30	15	事例紹介（沖縄本島）
14:30 ～ 15:00	30	渡嘉敷島のいいところ（素材を出し合う）
15:00 ～ 15:10	10	休憩
15:10 ～ 15:25	15	プログラム作りについて その①～動画視聴と作り方～
15:25 ～ 16:10	45	プログラム作りについて その②～つくってみよう～
16:10 ～ 16:30	20	振り返り

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

令和3年 1/26（火）第二部 19:00～20:30予定 事例紹介・ワークショップ形式

くまのみ自然学校・伊谷氏によるセミナー

時間	Lap	セミナー内容
19:00 ～ 19:15	15	事業の説明・午前の共有
19:15 ～ 20:05	50	伊谷氏講話（西表島の事例紹介等）
20:05 ～ 20:20	15	グループ共有
20:20 ～ 20:25	5	質疑応答
20:25 ～ 20:30	5	振り返り

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

※1：ワールド・カフェとは、その名のとおり『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法の一つ。

※2：ペーパータワーとは、あらゆるジャンルの企業において、人材育成を目的とした研修に広く採用され、大まかな内容としては、20～30枚の紙を使用してタワーを作成し、その高さを複数のチームで競う中で、チーム内の一人一人が主体性を持ち、多様性を発揮できる場作りの手法の一つ。

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

3. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の背景、目的

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人 を超える **観光客が足を運ぶ人気の観光地**である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村 と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の**国立公園に指定**されたことにより、**島を訪れる観光客が年々増加する傾向**にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした**「国立公園満喫プロジェクト」に選定**され、今まで以上に**外国人観光客の受入推進が求められている**。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、**持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 ヵ年）」を策定**した。

本事業では、平成 29 年に策定した「渡嘉敷村観光振興計画」に基づいて、村の**観光客受入体制強化を推進**するとともに、狙うべきターゲットを設定し、それぞれの**ターゲットに適した観光誘客施策を実施**する。事業の推進については、観光振興計画 P30「3-3基本施策と 取組み の体系」から、その事業との 関連性、必要性、事業効果を鑑み実施する。

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の実施方針

**地域住民（地域事業者含む）と連携・協働した新たな受入体制整備と
質の高い誘客施策を通して、地域づくりを基軸に
渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む**

■ 今後のセミナー、協議会開催予定

2021年2月以降 ①第三回渡嘉敷村ガイド育成セミナー（確定）

日時：令和3年2月17日（水）・18日（木）の2日間

場所：渡嘉敷村役場 2 階大会議室

内容：ホールアース自然学校・小林氏の進行による対話形式セミナーと
フィールドワークを予定

②村民向け受入体制・支援セミナー（予定）

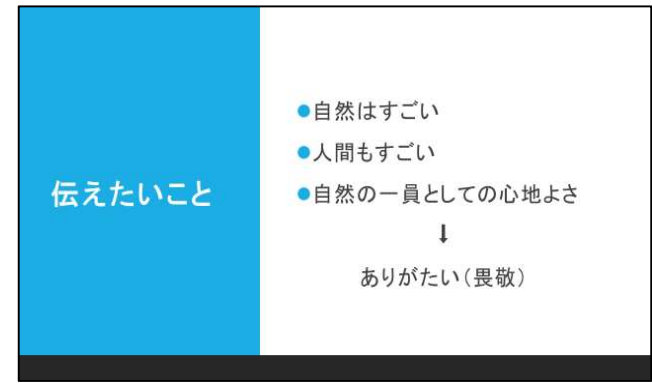
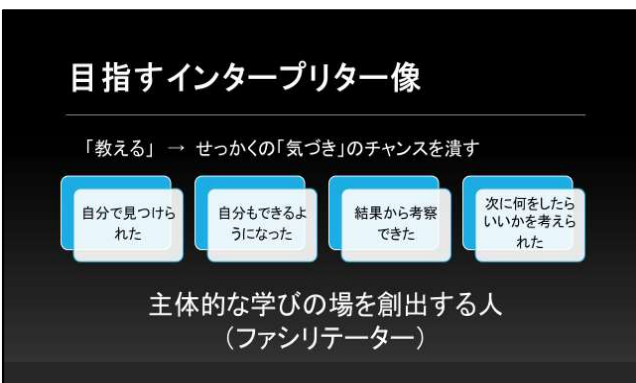
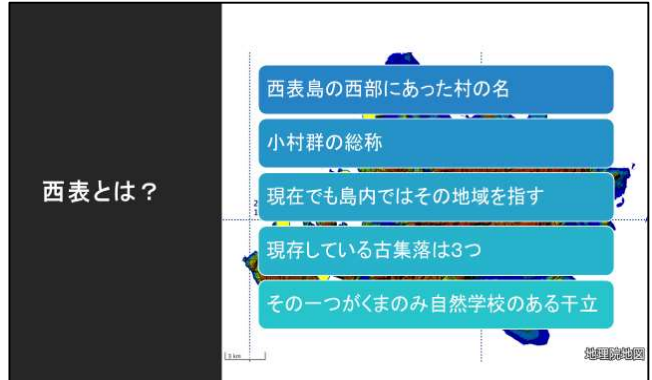
③渡嘉敷村ビーチ利用協議会 実施報告会（予定）

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

4. くまのみ自然学校のプログラム資料



1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

4. くまのみ自然学校のプログラム資料

歴史の森トレッキング

〔テーマ〕琉球王国の秘宝と西表島開発
 【対象】大学生～シニア層
 干立の浜で宝探し：世界を一変させた秘宝の正体
 舞台を移しながら「紙芝居」で解説
 ●関わった歴史上の人物たち
 ●開発の歴史
 〈ゴール〉なぜ開発が終焉を迎えたのか





ナイト・プログラムⅢ 集夜の夜ウォーキング

〔テーマ〕五感を使うと自然観察はもっと楽しい
 聴覚：カエルやフクロウ・オオコウモリ
 嗅覚：葉や花の香り
 味覚：長命草
 触覚：木の識別
 視覚：ホタル・季節の星座
 〈ゴール〉野生の感覚を取り戻す




西表島実習

茨城高校
 【5泊6日】
 【定員20名】
 【スタッフ】2名
 教員2名（安全管理）
 宿泊は干立のみ
 フィールド限定

日程	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
1	集合・開校式	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習
2	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習
3	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習
4	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習
5	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習
6	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習	西表島実習

課題

失われる伝統文化
 →自分で調べて記録に残す
 訪問者の増加
 →干立憲章：住民や訪問者のルール
 狙われる不在地主の土地
 →地主に売らないようお願いする
 コテージの収益で買い取る

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

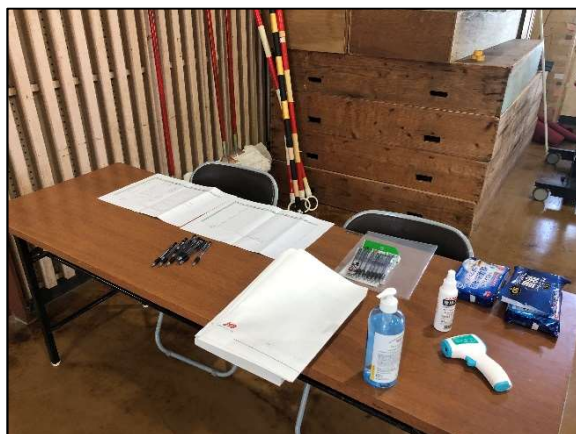
【第二回渡嘉敷村ガイド育成セミナー 参加者名簿】

	氏名	団体・企業・組織名	備考・その他	第一部	第二部
1	個人情報のため お名前等はふせております。			○	○
2				○	○
3				○	○
4				○	
5				○	○
6				○	
7				○	○
8					○
9					○
10				○	○
11				○	
12				○	
13				○	○
14				○	
15				○	
16				○	○
17				○	○
18				○	○
19					○
20				○	
21				○	
22				○	
23				○	
24				○	
25				○	
26					○
			合計	22名	14名
			延べ合計	26名	

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【会場設営・コロナ感染防止対策の様子】



【セミナーの様子】



1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

第三回 渡嘉敷村ガイド育成セミナー

～ガイドスキル・インタープリテーションを頭と体でリアルに体感～

～地域事例から渡嘉敷島の現状や今後を語ろう～

日時：令和3年2月18日（木）～2月19日（金）

場所：国立沖縄青少年交流の家 講堂及び屋外施設内

話題提供者・進行役：ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 代表 小林 政文

ゲスト協力者：くまのみ自然学校 伊谷 玄
やんばる自然塾代表取締役社長 島袋 裕也

全体司会：株式会社JTB沖縄 山城 栄（運営事務局）

【第一部 2/18（木）14：00～17：30予定 ワークショップ（ワールド・カフェ）形式】

テーマ：「ガイドスキル・インタープリテーションとは？」

1. 第一部セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：課長 玉城 広喜（たまき ひろき）より事業概要説明
3. 小林氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
4. 質疑応答・振り返り等
5. 運営事務局より事務連絡等
6. 第一部セミナー閉会

【第二部 2/19（金）9：30～12：30予定 フィールドワーク形式 ※交流の家付近での現地研修】

テーマ：「ガイドスキル・インタープリテーションを現場でリアルに体感」

1. 第二部セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明
3. 小林氏によるこれまでの振り返り、フィールドワークに向けた説明、グループ分け等
4. 質疑応答・振り返り・本日のまとめ等
5. 運営事務局より事務連絡等
6. 第二部セミナー閉会

【第三部 2/19（金）15：30～18：00予定 意見交換会／一部ワールド・カフェ形式】

テーマ：「他地域事例から渡嘉敷島の現状や今後を語ろう」

1. 第三部セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明
3. 参加者全員での意見交換
4. 質疑応答・振り返り・本日のまとめ等
5. 運営事務局より事務連絡等
6. 第三部セミナー閉会

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【セミナー開催案内チラシ】

令和2年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

今年度ラストの開催！

村民皆様が対象！！

第三回 渡嘉敷村ガイド育成セミナーの開催について

～ガイドスキル・インタプリテーションを頭と体でリアルに体感～
～他地域事例から渡嘉敷島の現状や今後を語ろう～

❖ ホールアース自然学校の小林氏を進行役にセミナーやフィールドワーク、意見交換会を開催！
平成26年3月5日「サングの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で31番目の国立公園に指定されました。これは日本を代表する素晴らしい自然が存在するという証であり、大変名誉なことです。これからは観光地として注目される渡嘉敷村において、村民の方々とともに観光によるまちづくりや自然環境の保全に努める必要があります。その取組の一環として、観光と持続可能なまちづくりの実践に向けて、対話形式のセミナーとフィールドワーク、意見交換会を開催いたします。村民の皆様、事業者の皆様、ご参加をお待ちしております。

❖ 開催内容

【第一部】
日時：令和3年2月18日（木）
場所：国立沖縄青少年交流の家 講堂
※参加人数によっては会場が変更になる場合もございます。
時間：14：00～17：30予定
内容：「ガイドスキル・インタプリテーションとは？」
・第一、二回セミナーの振り返り
・話し方、聞き方、場作り等、基本となるインタプリテーションについて

【第二部】
日時：令和3年2月19日（金）
場所：国立沖縄青少年交流の家 敷地内等
※研修場所が変更になる場合もございます。
※講堂にご集合ください。
時間：9：30～12：30予定
内容：「インタプリテーションを現場でリアルに体感」
セミナーで学んだ事を実際のフィールドにて実践

【第三部】
日時：令和3年2月19日（金）
場所：国立沖縄青少年交流の家 講堂
※参加人数によっては会場が変更になる場合もございます。
時間：15：30～18：00予定
内容：「他地域事例から渡嘉敷島の現状や今後を語ろう」
くまのみ自然学校・伊谷氏、やんばる自然塾・島後氏を交えて、参加者全員で自由な意見を交換

【共通事項】
※この都合の良い時間での参加も大歓迎！
※休憩を挟みながらのセミナーです。
※新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた上で、開催いたします。

お申込方法や問い合わせ先については、裏面をご確認ください。

セミナー開催 協力者のご紹介

沖縄本島や西表島でエコツアーガイドとして活躍。ガイドとしてのスキルはもちろん、各地域での活動や地域との関わり等の話も豊富。講師と参加者という関係性ではなく、積極的にコミュニケーションを図っていきましょう！

小林 政文（こばやし まさふみ）
ホールアース自然学校沖縄校がじゅまる自然学校 代表
ジャパンアウトドアリーダースアワード2018で優秀賞を受賞するなど地域とガイドをつなぐ活動に取り組む。

伊谷 玄（いたに げん）
くまのみ自然学校を設立後、西表島の環境教育や地域づくりに関連する主な施設や組織の立ち上げから携わり、環境教育、エコツーリズム、自然環境の利用と保全、地域づくりに取り組んでいる。

島後 裕也（しまごくら ゆうや）
やんばる自然塾代表取締役社長
東村観光推進協議会役員
東村エコツーリズム部会長
東村慶佐次のマングローブプログラムを通して、観光振興や地域づくりに取り組んでいる。

話題提供者・進行役

ゲスト協力者

ゲスト協力者

お申込みフォーム

■ 2/18（木）14:00～17:30開催 【第一部】ガイド育成セミナー（室内セミナー）

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

■ 2/19（金）9:30～12:30開催 【第二部】ガイド育成セミナー（フィールドワーク）

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

■ 2/19（金）15:30～18:00開催 【第三部】ガイド育成セミナー（意見交換会）

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

❖ 今後の予定
「渡嘉敷村ビーチ利用ルール協議会（報告会）」
日時：2月最終週もしくは、3月第一週（予定）
場所：渡嘉敷村役場2階大会議室（予定）
内容：1/27（水）実施の協議会で議論した「渡嘉敷志久ビーチ注意喚起看板」の制作、設置状況について

株式会社JTB沖縄 交流営業部 交流営業課 山城、眞梨城 098-860-7704 s.yamashiro@okw.jtb.jp

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

1. 次第

令和2年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務	
第三回 渡嘉敷村ガイド育成セミナー	
～ガイドスキル・インタープリテーションを頭と体でリアルに体感～	
～他地域事例から渡嘉敷島の現状や今後を語ろう～	
セミナー進行次第	
日時：令和3年2月18日（木）～2月19日（金）	
場所：国立沖縄青少年交流の家 講堂及び屋外施設内	
【第一部 2/18（木）14：00～17：30予定 ワークショップ（ワールド・カフェ）形式】	
テーマ：「ガイドスキル・インタープリテーションとは？」	
1. 第一部セミナー開会	
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明	
3. 小林氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）	
4. 質疑応答・振り返り等	
5. 運営事務局より事務連絡等	
6. 第一部セミナー閉会	
【第二部 2/19（金）9：30～12：30予定 フィールドワーク形式 ※交流の家付近での現地研修】	
テーマ：「ガイドスキル・インタープリテーションを現場でリアルに体感」	
1. 第二部セミナー開会	
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明	
3. 小林氏によるこれまでの振り返り、フィールドワークに向けた説明、グループ分け等	
4. 質疑応答・振り返り・本日のまとめ等	
5. 運営事務局より事務連絡等	
6. 第二部セミナー閉会	
【第三部 2/19（金）15：30～18：00予定 意見交換会／一部ワールド・カフェ形式】	
テーマ：「他地域事例から渡嘉敷島の現状や今後を語ろう」	
1. 第三部セミナー開会	
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明	
3. 参加者全員での意見交換	
4. 質疑応答・振り返り・本日のまとめ等	
5. 運営事務局より事務連絡等	
6. 第三部セミナー閉会	
話題提供者・進行役：小林 政文（こばやし まさふみ）／ ホールアース自然学校沖縄校・がじゅまる自然学校 代表	
ゲスト協力者：伊谷 玄（いたに げん）／ くまのみ自然学校	
島袋 裕也（しまぶくろ ゆうや）／ やんばる自然塾代表取締役社長	
全 体 司 会：山城 栄（やましろ さかえ）／ 運営事務局（株式会社JTB沖縄）	
【配布資料】 ※その他、当日追加になる場合もございます。	
1. 本次第	
2. セミナータイムスケジュール	
3. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）	

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

2. セミナータイムスケジュール

第三回 渡嘉敷村ガイド育成セミナーの開催について

令和3年 2/18（木）第一部 14:00～17:30予定

ワークショップ（ワールド・カフェ ※1）形式

～ガイドスキル・インタープリテーションとは？～

ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校・小林氏によるセミナー

時間	Lap	セミナー内容
14:00 ～ 14:10	10	事業の説明、自己紹介、今日の目的、今日の流れ
14:10 ～ 14:20	10	ペーパータワー（説明4分、会議5分、実施1分）※2
14:20 ～ 14:30	10	4つの窓（名前や所属、普段の活動、参加理由）
14:30 ～ 14:45	15	第一回セミナーの共有 ～ガイドとはどんな仕事か？ガイドの役割について等～
14:45 ～ 15:00	15	第二回セミナーの共有 ～プログラム作りについて等～
15:00 ～ 15:10	10	休憩
15:10 ～ 16:05	55	インタープリテーションについて ・想いを伝える ・コミュニケーションが大切 ・対象者理解
16:05 ～ 16:15	10	休憩
16:15 ～ 17:10	55	インタープリテーションについて ・聴く ・体験させる ・発見させる
17:10 ～ 17:30	20	振り返り

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

※1：ワールド・カフェとは、その名の通り『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法の一つ。

※2：ペーパータワーとは、あらゆるジャンルの企業において、人材育成を目的とした研修に広く採用され、大まかな内容としては、20～30枚の紙を使用してタワーを作成し、その高さを複数のチームで競う中で、チーム内の一人一人が主体性を持ち、多様性を発揮できる場作りの手法の一つ。

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

2. セミナータイムスケジュール

第三回 渡嘉敷村ガイド育成セミナーの開催について

令和3年 2/19（金）第二部 9:30～12:30予定

フィールドワーク ※1

～ガイドスキル・インタープリテーションを現場でリアルに体感～

（案内人）ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校・小林氏

（ゲスト参加者）やんばる自然塾・島袋氏

くまのみ自然学校・伊谷氏

時間	Lap	セミナー内容
9:30 ～ 9:40	10	事業の説明、自己紹介、今日の目的、今日の流れ
9:40 ～ 9:50	10	第一～三回育成セミナー振り返り
9:50 ～ 9:55	5	グループ分け
9:55 ～ 10:10	15	フィールドまで移動
10:10 ～ 11:50	100	前日（2/18）のインタープリテーションについてのセミナーを受けて 屋外での現地研修
11:50 ～ 12:15	25	集合場所まで移動後、休憩
12:15 ～ 12:30	15	振り返り

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

令和3年 2/19（金）第三部 15:30～18:00予定

意見交換会（一部ワールド・カフェ ※2）

～他地域事例から渡嘉敷島の現状や今後を語ろう～

ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校・小林氏による進行

（ゲスト参加者）やんばる自然塾・島袋氏

くまのみ自然学校・伊谷氏

時間	Lap	セミナー内容
15:30 ～ 15:40	10	事業の説明、自己紹介、今日の目的、今日の流れ
15:40 ～ 15:55	15	午前のフィールドワーク共有 第一～三回育成セミナー振り返り等
15:55 ～ 16:35	40	これまで実施したセミナー、フィールドワークを受けて 意見交換
16:35 ～ 16:45	10	休憩
16:45 ～ 17:15	30	次年度以降のセミナーの在り方等 意見交換
17:15 ～ 17:30	15	振り返り、まとめ

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

※1：今回のフィールドワークは、インタープリテーションについてのセミナーを受けて、実際の屋外でのフィールドで現地研修を実施。

※2：ワールド・カフェとは、その名のとおり『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法の一つ。

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

3. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の背景、目的

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人を超える **観光客が足を運ぶ人気の観光地**である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の**国立公園に指定**されたことにより、**島を訪れる観光客が年々増加する傾向**にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした**「国立公園満喫プロジェクト」に選定**され、今まで以上に**外国人観光客の受入推進が求められている**。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、**持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 年）」を策定**した。

本事業では、平成 29 年に策定した「渡嘉敷村観光振興計画」に基づいて、村の**観光客受入体制強化を推進**するとともに、狙うべきターゲットを設定し、それぞれの**ターゲットに適した観光誘客施策を実施**する。事業の推進については、観光振興計画 P30「3-3基本施策と取組みの体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果を鑑み実施する。

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の実施方針

**地域住民（地域事業者含む）と連携・協働した新たな受入体制整備と
質の高い誘客施策を通して、地域づくりを基軸に
渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む**

■ 今後のセミナー、協議会開催予定

■ 渡嘉敷村ビーチ利用ルール協議会（報告会）

日時：2月最終週 もしくは、3月第一週（予定）

場所：渡嘉敷村役場 2 階大会議室（予定）

内容：1/27（水）実施の協議会で議論した「渡嘉志久ビーチ注意喚起看板」の制作、
設置状況について

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【配布資料】

4.ガイド育成セミナーアンケート

第三回渡嘉敷村ガイド育成セミナーアンケート

(第一部 / 第二部 / 第三部)

本日は渡嘉敷村ガイド育成セミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）： _____

1. 本日のセミナーについて ※該当するいづれかに○をつけてください。

a. 参加してよかった
b. どちらでもない
c. 参加しなければよかった

2. 問1について「c. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

a. 内容に興味が持てなかった
b. 内容に不満があった
c. その他 ()

※a～c を選んだ理由を具体的に記入ください！

3. 本事業では計3回のガイド育成セミナーを実施しました。セミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

また、選んだ理由もお聞かせください。

a. ガイド業に興味があった。
b. ガイド業をやりたい。
c. 村内の事業者、村民同士で意見交換ができて、繋がりができた。
d. 村外で活躍するガイドとの意見交換ができて、繋がりができた。
e. 特に何も感じなかった。
f. その他 ()

※a～f を選んだ理由を具体的に記入ください！

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。

また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

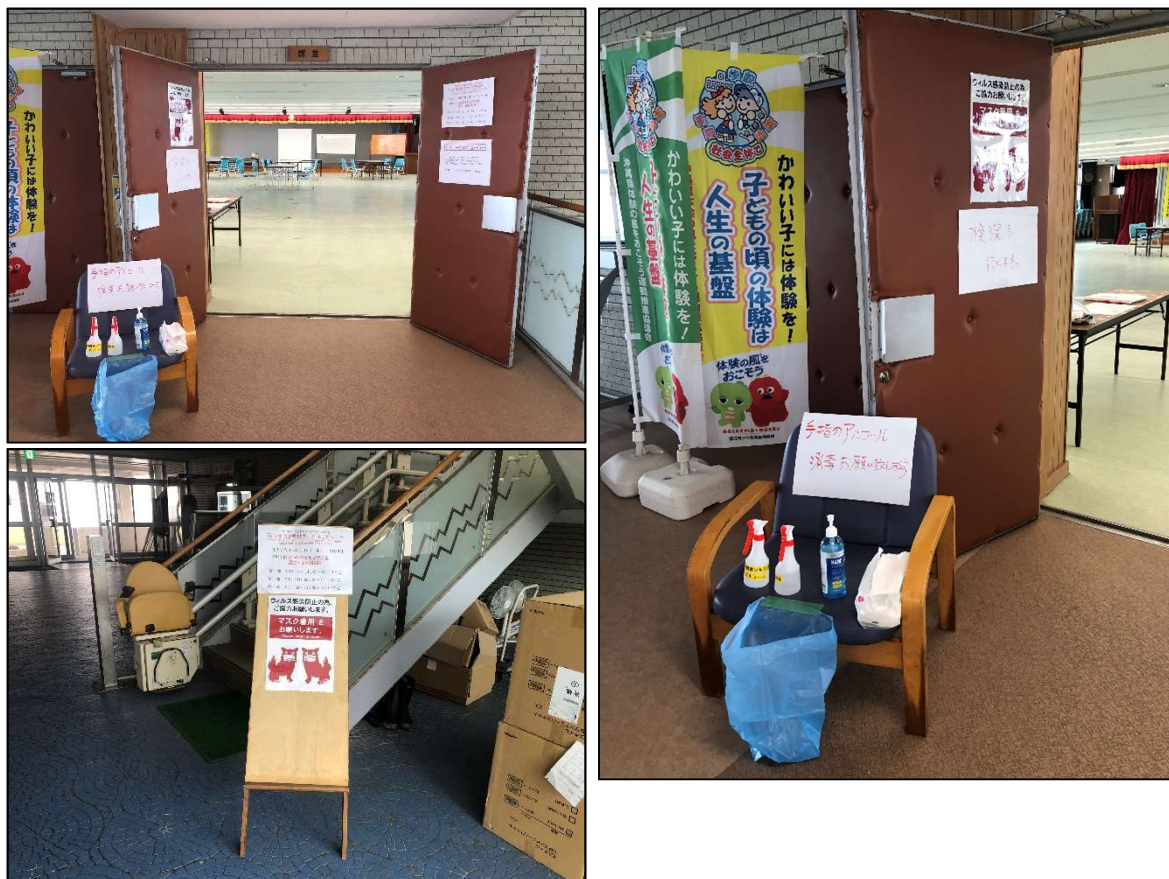
【第三回渡嘉敷村ガイド育成セミナー 参加者名簿】

	氏名	団体・企業・組織名	備考・その他	第一部	第二部	第三部
1	個人情報のため お名前等はふせております。					○
2						○
3						○
4						
5						○
6						○
7						○
8						○
9						
10						○
11						○
12						
13						○
14						○
合計				10名	11名	11名
延べ合計				14名		

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

① ガイド育成セミナーの企画運営

【会場設営の様子】



【第一部 屋内セミナーの様子】



1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【第二部 屋外フィールドワークの様子】



【第三部 意見交換会の様子】



1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【ガイド育成セミナーアンケート】

第三回渡嘉敷村ガイド育成セミナーアンケート

(第一部 / 第二部 / 第三部)

本日は渡嘉敷村ガイド育成セミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）：

1. 本日のセミナーについて ※該当するいずれかに○をつけてください。

- a. 参加してよかった
- b. どちらでもない
- c. 参加しなければよかった

2. 問1について「c. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

- a. 内容に興味が持てなかった
- b. 内容に不満があった
- c. その他（

※a～c を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

3. 本事業では計3回のガイド育成セミナーを実施しました。セミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

また、選んだ理由もお聞かせください。

- a. ガイド業に興味がわいた。
- b. ガイド業をやってみたい。
- c. 村内の事業者、村民同士で意見交換ができて、繋がりができた。
- d. 村外で活躍するガイドとの意見交換ができて、繋がりができた。
- e. 特に何も感じなかった。
- f. その他（

※a～f を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。

また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【ガイド育成セミナー アンケート集計結果】

延べ参加人数14名中8名から回収（回収率：57%）

Q1. 本日のセミナーについて

	項目	回答数	構成比
a	参加してよかった	8	100%
b	どちらでもない	0	0%
c	参加しなければよかった	0	0%
	合計	8	100%

Q2. Q1にて「c. 参加しなければよかった」と選択された方へ、その理由をお聞かせください。

※Q1のアンケート回答者全員が「参加してよかった」と選択されたため、該当無し。

Q3-1. 本事業では計3回のガイド育成セミナーを実施しました。セミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

	項目	回答数	構成比
a	ガイド業に興味があった	4	19%
b	ガイド業をやってみたい	2	10%
c	村内の事業者、村民同士で意見交換ができて、繋がりができた	8	38%
d	村外で活躍するガイドとの意見交換ができて、繋がりができた	7	33%
e	特に何も感じなかった	0	0%
f	その他	0	0%
	合計	21	100%

Q3-2. a～fを選んだ理由を具体的に記入ください。

- ・井の中の蛙になりがち。
- ・いつもはなかなか話す機会がないし、この様な話はしないので、話ができて良かった。
- ・観光業の質は、関わる人の質につくる。特別な自然の素材を持つ渡嘉敷だからこそ関わる人の質を高めたい。その意味で繋がりが重要。
- ・村内に良い友人、仲間ができた。また講師の方々の努力が聞けたのでとても参考になった。
- ・ガイドを軸にグループワークなどを通し、村内の方と色々な話をする機会が多くあり、聞くだけの講義より良かった。
- ・セミナーに参加し、日頃の悩みであったことがリフレッシュできた。
- ・2年に1度程、小林氏の講座があると嬉しい。もう一か所、フィールドワークしたいと思うほどよかった。

Q4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

- ・平日が参加しやすいので、今回のような形でまた開催してほしい。
- ・開催時期は問題無し。現地集合でも良いので他の地域に出向き、もっと先生方のフィールドの良さの伝え方を現地で勉強したいと思った。まずは本島やんばる国立公園、西表などで、一週間、3泊4日等の長期研修もあつたら良いと感じた。タイミング合えば自費でも参加したい。
- ・継続した機会の創出。
- ・今のようなコロナ禍で暇な時間を利用しての開催が良い。子供を持つ家庭では9～17時での開催が助かる。
- ・セミナーの開催を村内放送や口コミなどで、もっと積極的に村民に周知し、多くの方の参加を促してほしい。
- ・セミナー等の形にこだわらず、観光ガイドを軸にした集まる機会をより持ちたい。
- ・村民が村の歴史や集落のこと、自然のことを学び知識を身につける、年間で学べる育成プログラムを作してほしい。
- ・今回のようなセミナーをより多く開催してほしい。目標は村民のみんながガイドに、を目指したい。
- ・良いセミナーなのに、何故、村民は参加しないのだろう。今回の参加者が知り合い等を誘う等あってよいのでは。

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

①ガイド育成セミナーの企画運営

【ガイド育成ツール基礎資料 ～渡嘉敷村ガイドスキルブック～】

■仕様【印刷：4/4c サイズ：8頁 仕上りA4・展開A3 素材：コート紙（76.5kg）
加工：断裁、中綴じ製本】

【制作内容一部抜粋】



本事業の目的について

渡嘉敷村は、豊かな自然に恵まれているとともに、特有の生態系、固有の文化・歴史など、他にはない様々な観光資源を有しています。そんな中、2014（平成26）年3月5日には、慶良間諸島が全国で31番目の国立公園に指定され、近年、観光客が増えています。

また、2016（平成28）年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園調音プロジェクト」に選定され、これまで以上に外国人からの注目も高まることが予想されます。

そこで村では、自然環境を保全しながら島の魅力を多くの人に伝える「ガイド」の育成に取り組むことにしました。

本冊子では、2020（令和2）年度に開催された「渡嘉敷村ガイド育成セミナー」の記録と今後の展望をまとめました。素晴らしい自然環境や歴史文化などの魅力を再認識し、愛着と誇りを持って島の持つ観光資源を守っていくことで「心ふるえる夢島」としきを目指していきます。今後もガイド育成セミナーの取り組みを村民の皆様と一緒に盛り上げていき、より良い渡嘉敷村を築きあげていきましょう。

インタプリテーションの様子



ガイドについての基礎知識

ガイドとは

コミュニケーションをとりながら、来訪者の目的を達成させる伴走者である。情報を伝えることだけが役割ではない。

ガイドの役割

- インタプリーター
地域に生息する植物や動物に詳しいというだけでなく、地域の文化や歴史、さらにはその地域の環境や気候などに関する知識を必要とする。
- ファシリテーター
グループや個人で訪れることを通じて、来訪者の目的達成を支援する。目的達成を支援するだけでなく、目的達成を促す役割も果たす。
- コーディネーター
いろいろな部署や関係機関と連携し、来訪者の目的達成をサポートする。一つ一つの役割を担う。

ガイドのコツ

参加者に目的・目標が必要である。ガイドはそれを設定させたり、引き上げたりすることが役割。また、目的や目標は達成できないこともある。なるべく引き出したり、後援することを目指すことが重要になる。

体験プログラムの役割

体験プログラムは、体験してもらうことで参加者の意識を高めるもの。もう一度ここへ来たくなる、もっと知りたくなるという、次の行動を促すことが重要である。

インタプリテーションとは

自然からのメッセージを伝える通訳者がインタプリーターである。双方向のコミュニケーションをとりながら、相手の意識を促す役割。情報を伝えるだけでなく、啓蒙を促すガイド手法である。

体験プログラムのコツ

アクティビティとアクティビティを組み合わせたものがプログラムである。そして、アクティビティ自身もプログラムである。一つのアクティビティ自体のメッセージや全体で何を伝えたいかという強い思いが重要となる。

インタプリテーション6つのコツ

1. 想いを伝える

見聞がなければ心は伝わりにくい。見聞を通して、伝えたいものを伝えること。言葉や物を通して伝達や理解を促すこと。

2. コミュニケーション

ガイドの役割は、知識の伝達だけではなく、伝えるだけではなく、伝えること。ガイドは（一人）だけでなく、グループ（複数）を目指す。

3. 対象者理解

来訪者（ゲスト）の目的や背景を把握することが大切。安心・安全の場を確保することで来訪者から信頼を得ることができ、伝達される。伝達者に参加者が信頼するようになることが大切。

4. 聞く

相手の話していることをよく聞き、そのために必要な情報を多くすること。自然観察やミニコンサートなど、見聞の伝達を促すことが大切。知識と体験の両方を伝えることが大切。

5. 体験させる

知識に頼るような工夫をする。そのためには伝えるだけではなく、体験させることが大切。体験させるためには、ガイド自身が体験すること。ガイド自身が体験すること。ガイド自身が体験すること。

6. 発見させる

体験を通して発見させる工夫をする。発見させることは、発見させること。発見させること。発見させること。発見させること。発見させること。発見させること。

セミナー 第1回

東村の取り組みを肴に 地域づくりと観光について語ろう

2020（令和2）年 12月26日（土）

第一部

ガイドという仕事とその役割について

ガイドとは、旅行先を正しく理解するために、旅行先の地理や歴史、文化、魅力などを深く知識を持って案内・説明する人。まずは、渡嘉敷島に必要なガイドについて考えよう。



講師である小林政文さんの自己紹介の後、参加者を2つのチームに分けてゲームを開展。新築地だけを使い、自定したタワーを作成。参加者たちの距離を縮めた。その後、「今日の目的」「ガイドの役割」「体験学習とは」についての議論を行った。

今日の目的

- 渡嘉敷島が観光について認識を共有する。
- ガイドや観光事業について改めて考える。

ガイドの役割

- インタプリーター ● ファシリテーター
- コーディネーター ● 環境保護

体験学習とは

- 参加者に目的・目標が必要。それを達成してもらう。
- 教えるのではなく、参加者が体験を通して成長するための援助。

講師からのメッセージ

今回のセミナーでは、東村の事例を紹介しました。やんばる自然館の皆さんは、「エコツーリズムを通して地域を元気にしていこう」というもの。それが、世の中のニーズとタイミングが合っていたというのが正真正正なところ。

環境の行楽業は一つではなく、いろいろな方法があります。参加者の皆さんからは、前向きなエネルギーを感じました。今回のセミナーのように新しい事業へチャレンジしアイデアや仕組み作りなどを同じ思いの仲間と続けていく。そんなお手伝いができたら嬉しいです。



奥保 和也
やんばる自然館

第二部

事例紹介 沖縄本島東村「やんばる自然館」

やんばる自然館は、東村・慶次郎でやんばるの自然を体験できるエコツアーの企画・案内を行っています。「エコツーリズム」による地域振興をテーマに事業を展開しています。



慶次郎の若者が集まって、夢つくり21委員会という組織を結成。エコツーリズムに賛同し、1999年にやんばる自然館を設立。ホール・アース自然学校にノウハウを継承し、オリジナルプログラムを作成する。同時多発テロの発生で全キャンセルも経験したが、翌年から需要が戻り、現在では年間1万8,000人ほどを受け入れる。

やんばる自然館が成功したポイント

- 「地域を大事にしたい」というのが会社の理念。
- 人材も自然も含めて、地域資源を徹底的に活用する。
- 基本料金が安いとの指摘に対しては、料金ではなくプログラムを見直した。
- 安全の確保は重要。毎月1回レクチャー講座を行っている。
- 環境保全活動も実施。月に1度はフィールド内の清掃を行う。
- 地域住民への波及効果も考慮。若者を採用したり、バインの買収や生産者に講師になってもらった講師料を支払う。

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

(1) 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

② アンケート調査（来島者向けアンケート調査）

第一回 来島者向けアンケート調査 実施概要

調査目的	渡嘉敷村の観光実態を把握し、来島する観光客の皆様により満足していただける魅力的な観光地を作る目的で実施
調査時期	2020年11月20日（金）～23日（月）
調査場所	渡嘉敷港旅客待合所及びフェリーとかしき船内
調査対象者	渡嘉敷村を訪れる日本人観光客
調査手法	・ASPアンケート（WEB画面で回答するアンケート） ・アンケートに遷移するQRコードが記載された用紙を、渡嘉敷港にて提示配布
調査員数	4名（初日の20日は5名体制にて実施）
目標サンプル数	200サンプル
有効サンプル数	241サンプル（対目標120%）
設問数	30問（回答者によってご回答頂く数は異なる） ※基本設問、スクリーニング含む

※アンケート回答者へノベルティ（オリジナルマスク・トートバッグ／各2種計4つの中から1つ）を提供

【QRコード記載用紙】

★アンケートのご協力をお願いします★

渡嘉敷村にお越しいただき、
ありがとうございました！

アンケートにご協力いただいた方には
渡嘉敷村のオリジナルグッズを
差し上げております。

下記のQRコードを読み取りますと、
アンケート画面に遷移いたします。



※アンケートの最後にノベルティ受け渡しの確認画面がございますので、
【次へ】を押さずにお近くの調査員にご提示をお願いします。
調査員はフェリーに同乗しております。

【アンケート調査の様子】



1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

②アンケート調査（来島者向けアンケート調査）

■「来島者向けアンケート調査」設問事項

設 問 事 項	
F1	あなたの性別をお答えください。（お答えは1つ）※自認する性別でお答えください。
F2	あなたの年齢をお答えください。（お答えは1つ）
F3	あなたのお住まいの地域をお答えください。（お答えは1つ）
Q1	あなたは通常平均、1年に何回程度、国内旅行に行けますか。（お答えは1つ） ※過去5年間（2015年～2020年）の平均回数をお答えください。
Q2	あなたの普段の旅行の形態はどのようなタイプが最も多いですか。（お答えは1つ）
Q3	あなたは普段旅行をする際に、どのような情報源を利用していますか。（複数回答可）
Q4	沖縄県外よりお越しの方にお聞きします。 今回の来沖を除き、あなたはこれまでに沖縄県に何回来たことがありますか。（お答えは1つ）
Q5	今回の沖縄旅行の日程を教えてください。（お答えは1つ）
Q6	今回の来島を除き、あなたはこれまでに渡嘉敷島へは何回来たことがありますか。（お答えは1つ）
Q7	以前に渡嘉敷島に来たことがある方にお聞きします。 これまで渡嘉敷島に訪れたことのある時期をお選びください。（複数回答可）
Q8	あなたが以前、渡嘉敷島に訪れたことのあるのは直近でいつ頃ですか。（お答えは1つ）
Q9	あなたは、今回訪れる前から渡嘉敷島をご存知でしたか。（お答えは1つ）
Q10	あなたが、渡嘉敷島を最初に知ったきっかけとなった情報源を教えてください。（複数回答可）
Q11	最初に渡嘉敷島を知った時、あなたはどんなイメージをお持ちになりましたか。（複数回答可）
Q12	今回、渡嘉敷島に行くことを決めた一番の決め手となった情報源は何ですか。（お答えは1つ）
Q13	乗船券売場において、デジタルサイネージで渡嘉敷島の観光情報を見ましたか。（お答えは1つ）
Q14	今回の旅行の形態はどのようなタイプですか。（お答えは1つ）
Q15	今回の渡嘉敷島への旅行日程を教えてください。（お答えは1つ）
Q16	今回、渡嘉敷島への旅行には、誰と一緒に沖縄になりましたか。あてはまるものをお選びください。 （お答えは1つ）
Q17	渡嘉敷島の次の観光スポットで、あなたがご存じの場所をお答えください。 また、今回訪れた場所をお答えください。（複数回答可）
Q18	今回の渡嘉敷島への旅行での、「交通費（※）及び宿泊費（※）」「渡嘉敷島での飲食費」「渡嘉敷島でのスポーツアクティビティ等のレジャー費用」について、それぞれ1人あたりの費用を教えてください。 （お答えはそれぞれ1つ） ※交通費は渡嘉敷島内みの金額をお答えください（那覇、渡嘉敷島間の船代は含まない）。 ※宿泊費は、Gotoトラベルキャンペーン割引を利用された場合、割引前の金額をお答えください。
Q19	渡嘉敷島で体験されたスポーツアクティビティ等は具体的にどのような体験をされたか教えてください。 （複数回答可）
Q20	お土産を買わなかった理由を教えてください。（複数回答可）
Q21	あなたが、今回渡嘉敷島で訪れた場所でインスタ映えすると思った場所をお答えください。（複数回答可）
Q22	今回の渡嘉敷島への旅行で島内の移動手段は主に何をご利用になりましたか。（お答えは1つ）
Q23	以下の項目について、今回の渡嘉敷島への旅行での満足度をお答えください。（お答えはそれぞれ1つ）
Q24	トイレ、展望台、ビーチそれぞれについて、渡嘉敷島での美化の印象をお答えください。 （お答えはそれぞれ1つ）
Q25	今回の渡嘉敷島への旅行での総合満足度を教えてください。（お答えは1つ）
Q26	以下の項目について、今回の渡嘉敷島への旅行で感じたお気持ちをお答えください。 （お答えはそれぞれ1つ）
Q27	あなたは、渡嘉敷島へ旅行にまた来たいと思いましたか。（お答えは1つ）

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

②アンケート調査（来島者向けアンケート調査）

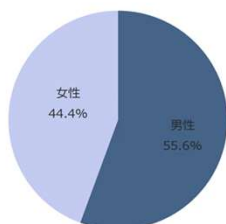
【第一回 来島者向けアンケート調査 集計・調査結果】

調査結果の見方

- ・nは回答者数を表している。
- ・回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- ・設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。
- ・nが30未満の数値は参考値とする。

■ 対象者属性

■ 性別構成比

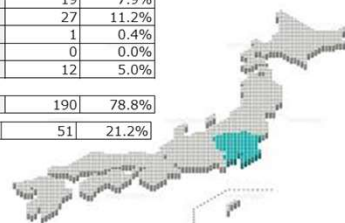


	n	%
男性	134	55.6
女性	107	44.4
合計	241	100.0

■ 居住地別構成比

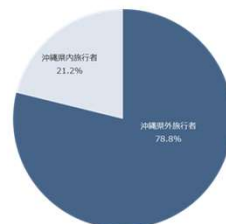
	n	%
北海道	2	0.8%
東北	3	1.2%
関東	126	52.3%
中部	19	7.9%
近畿	27	11.2%
中国	1	0.4%
四国	0	0.0%
九州	12	5.0%

沖縄県外合計	190	78.8%
沖縄	51	21.2%



■ 年代別構成比

	n	%	0%	10%	20%	30%	40%	50%
10歳未満	4	1.7	1.7					
10代	3	1.2	1.2					
20代	49	20.3			20.3			
30代	73	30.3				30.3		
40代	53	22.0				22.0		
50代	41	17.0				17.0		
60代	15	6.2		6.2				
70代以上	3	1.2		1.2				
合計	241	100.0						



	n	%
沖縄県外旅行者	190	78.8%
沖縄県内旅行者	51	21%
合計	241	100.0

■ 調査結果サマリー【沖縄来訪と渡嘉敷島来島履歴及び渡嘉敷島リピーターの来島の季節】

《沖縄来訪と渡嘉敷島来島履歴（回数）》

沖縄県外からの旅行者の沖縄リピーターは、約9割（沖縄が「初めて」以外の割合）。しかし、渡嘉敷来訪経験は、約7割が「初めて」。

沖縄県外からの旅行者の沖縄訪問回数では、10回以上が最も多く33%。次いで6～9回12%となっており、県外からの旅行者の沖縄訪問歴は比較的高めの傾向が伺える。

しかしながら、渡嘉敷島への来島の回数では、『0回（今回が初めて）』が最も多く、全体241人の内61%となっている。

沖縄県外に居住されている「沖縄県外旅行者」（190人）では、68%と約7割が渡嘉敷島初来訪となっている。2回～4回のライトなリピーターは21%、5回以上のヘビーなリピーター12%となっている。

沖縄県内に居住されている「沖縄県内旅行者」（51人）では『0回（今回が初めて）』35%、ライトなリピーター（2回～4回）37.3%、ヘビーなリピーター（5回以上）27.5%となっている。（P16及びP17グラフ参照）

《渡嘉敷島来島季節（月）》

渡嘉敷島リピーターの最も来島が多い季節は、7月と11月。沖縄県外旅行者は、温暖な気候を求めて11月が最も多く、次いで梅雨明けの沖縄を求めて7月、6月が多い。

渡嘉敷島来島経験別では、「2回～4回」（51人）は、11月29%、7月26%、9月26%となっており、「5回以上」（44人）では7月64%、8月61%、11月61%、6月57%、10月52%と6月～11月まで9月を除き、満遍なく来島されている。（P18グラフ参照）

また、居住地別では、「沖縄県外旅行者」（62人）では、11月48%、7月39%、6月34%となっている。

「沖縄県外旅行者」では、本州では寒さが感じられる『11月』や梅雨の『6月』に、温暖な沖縄（『11月』）や、梅雨明けの沖縄（『6月』）に渡嘉敷島へ旅行に行っていることが伺える。また、7月、8月のトップシーズンよりも旅行費用が比較的“安い”こともこの季節を選択している理由ではないかと推察される。

「沖縄県内旅行者」は、8月58%、7月52%となっており、夏休みに渡嘉敷島へ小旅行に行っている傾向が伺える。（P19グラフ参照）

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

②アンケート調査（来島者向けアンケート調査）

【第一回 来島者向けアンケート調査 集計・調査結果】

■ 調査結果サマリー【リピーターの直近の来島時期・初来島者の（来島前の）渡嘉敷島認知の状況】

《リピーターの直近の渡嘉敷島来島時期（いつ頃か）》

渡嘉敷島リピーターの半数以上は、1年以内に来島経験あり。沖縄県外からの渡嘉敷島リピーターは7割以上が2年以内に来島。

全体（95人）では、1年以内の来島経験者が53%。

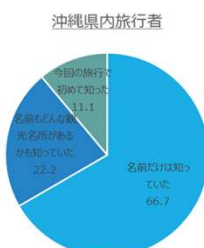
渡嘉敷島来島経験別では、「2回～4回」（51人）は、『1年以内』が37%、『2年以内』が18%、『3年以内』が6%となっている。
「5回以上」（44人）では、『1年以内』が71%、『2年以内』が11%、『3年以内』が5%で、2年以内が8割以上となっている。（P20グラフ参照）

また居住地別では、「沖縄県外旅行者」（62人）は、『1年以内』が53%、『2年以内』が21%、『3年以内』が5%で、2年以内が7割以上となっている。
「沖縄県内旅行者」（33人）は、『1年以内』が52%、『2年以内』が3%、『3年以内』が6%となっている。（P21グラフ参照）

《渡嘉敷島の認知状況》

**渡嘉敷島来島「初めて」の方の約6割は、訪れる前から名前だけ知っていた。
しかし約4割近くは、今回の旅行で初めて知った完全なる渡嘉敷島ビギナー。**

全体（146人）では、『名前だけ知っていた』が57%、『今回の旅行で初めて知った』が36%。
渡嘉敷島への旅行誘致には、“渡嘉敷島がどんな所か”“どんな見どころ（観光スポット）があるのか”などの認知拡大が必要であることが伺える。



■ 調査結果サマリー【渡嘉敷島を初めて知ったきっかけと来島の決め手となった情報源】

《渡嘉敷島を初めて知ったきっかけ》

渡嘉敷島の情報源は、『身近な人からの情報』がトップ。

全体（241人）では、『身近な人からの情報』53%、『観光協会、自治体のHP』21%。

渡嘉敷島来島経験別では、「初めて」（146人）、「2回～4回」（51人）、「5回以上」（44人）ともに『身近な人からの情報』が最も多くっており、特に「5回以上」では68%と約7割は、『身近な人からの情報』が最初に知ったきっかけとなっている。（P22グラフ参照）

また居住地別では、「沖縄県外旅行者」（190人）は、『身近な人からの情報』が53%、『観光協会、自治体のHP』22%、『旅行会社・宿泊施設等のHP』18%となっている。
「沖縄県内旅行者」（51人）は、『身近な人からの情報』が53%、『観光協会、自治体のHP』16%、『Twitter、Instagram、Facebook等のSNS』16%となっている。
『身近な人からの情報』以外の認知経路が少ない傾向となっている。（P23グラフ参照）

《渡嘉敷島来島の決め手となった情報源》

渡嘉敷島来島の決め手となった情報源も、『身近な人からの情報』が約5割で、それ以外の情報源とは大きな差がある。

全体（241人）では、『身近な人からの情報』47%、次いで『観光協会、自治体のHP』14%となっており、それ以外は、すべて10%以下。

渡嘉敷島来島経験別では、「初めて」（146人）、「2回～4回」（51人）、「5回以上」（44人）ともに『身近な人からの情報』が最も多くっており、特に「5回以上」では59%と約6割は、『身近な人からの情報』が渡嘉敷島来島の決め手となっている。（P26グラフ参照）

また居住地別では、「沖縄県外旅行者」（190人）は、『身近な人からの情報』が46%、『観光協会、自治体のHP』15%、『Twitter、Instagram、Facebook等のSNS』10%となっている。
「沖縄県内旅行者」（51人）は、『身近な人からの情報』が49%、『観光協会、自治体のHP』8%、『Twitter、Instagram、Facebook等のSNS』8%となっている。（P27グラフ参照）

認知のきっかけも、渡嘉敷島来島の決め手も『身近な人からの情報』

もっと渡嘉敷島を知ってもらうには、
来島者を巻き込んだPR活動が必要

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

②アンケート調査（来島者向けアンケート調査）

【第一回 来島者向けアンケート調査 集計・調査結果】

■ 調査結果サマリー【渡嘉敷島への旅行形態と旅行日程】

《今回の旅行形態》

個人手配旅行が7割弱、個人向けパッケージ旅行が2割強でほぼ個人型の旅行が主流。

全体（241人）では『往復航空（船舶）券や宿泊・観光等を全て個別で手配する個人手配旅行』67%、『往復航空（船舶）券や宿泊・観光等がセットになった個人向けパッケージ旅行』24%。

渡嘉敷島来島経験別でも全体同様に、『往復航空（船舶）券や宿泊・観光等を全て個別で手配する個人手配旅行』が最も多くなっており、「初めて」（146人）が59%、「2回～4回」（51人）が77%、「5回以上」（44人）が82%と、来島経験が多いほど、個人手配旅行となっている。

また居住地別では、「沖縄県外旅行者」（190人）は、『往復航空（船舶）券や宿泊・観光等を全て個別で手配する個人手配旅行』が63%、『往復航空（船舶）券や宿泊・観光等がセットになった個人向けパッケージ旅行』31%となっている。

「沖縄県内旅行者」（51人）は、80%が『往復航空（船舶）券や宿泊・観光等を全て個別で手配する個人手配旅行』が圧倒的な状況となっている。（P29グラフ参照）

《今回の渡嘉敷島への旅行日程》

5割強は、宿泊旅行、残り4割が日帰り旅行。渡嘉敷島来島が初めての人の日帰り旅行は多め。

全体（241人）では、『日帰り』46%、1泊2日以上宿泊旅行は54%（『2泊3日』20%、『1泊2日』16%、『3泊4日』11%、『4泊5日』4%、『5泊以上』3%）。

渡嘉敷島来島経験別では、「初めて」（146人）が『日帰り』59%と多く約6割は日帰りとなっている。

「2回～4回」（51人）が『日帰り』35%、「5回以上」（44人）が『日帰り』14%と、来島回数が多くなればなるほど、『日帰り』率が減少している。（P30グラフ参照）

また居住地別では、「沖縄県外旅行者」（190人）は『日帰り』48%、「沖縄県内旅行者」（51人）は『日帰り』37%と、沖縄県内からの旅行者の方が、渡嘉敷島へ宿泊を伴う旅行をしている。（P30グラフ参照）

「5回以上」の渡嘉敷島リピーターの旅行日程が2泊3日（32%）が最も多くなっていることの推察

初めての時は気軽に行ける
離島ということで、
日帰りで行く

時間が足りない...

また来れば良いと思い、
再来島意向は上昇

再来島
（日帰りの場合は物足りなさを感じる）
（1泊2日の場合でももっとゆとりしたくなる）

次回の再来島意向
と宿泊数アップ意向
が上昇

『2泊3日』

■ 調査結果サマリー【渡嘉敷島旅行への同行者及び観光スポットの認知状況と訪れた場所】

《今回の旅行の同行者》

配偶者・パートナー、友人・知人が3割、渡嘉敷島来島経験が「5回以上」では、4人に1人は1人旅。

全体（241人）では『配偶者・パートナー』34%、『友人・知人』31%。

渡嘉敷島来島経験別では、「初めて」（146人）は、『配偶者・パートナー』が39%と最も多い。

「2回～4回」（51人）は、『友人・知人』が37%で最も多く、「5回以上」（44人）も『友人・知人』39%と最も多くなっている。

また、「5回以上」では、『1人』で25%が多くなっている。（P31グラフ参照）

また居住地別では、「沖縄県外旅行者」（190人）は、『配偶者・パートナー』33%、『友人・知人』32%で僅差となっている。

「沖縄県内旅行者」（51人）は、『配偶者・パートナー』41%が最も多くなっている。（P32グラフ参照）

《渡嘉敷島の観光スポット 認知状況と今回の訪れた場所》

不動の人気観光スポット「阿波連ビーチ」

認知状況の2強は、『阿波連ビーチ』と『渡嘉志久ビーチ』。訪れた観光スポット最多は、やはり『阿波連ビーチ』。

全体（241人）では、『阿波連ビーチ』の認知が最も高く93%、訪れたスポットでは『阿波連ビーチ』は86%。

渡嘉敷島来島経験別では、「初めて」（146人）『阿波連ビーチ』の認知が91%、訪れたスポットでは『阿波連ビーチ』は87%。

「2回～4回」（51人）『阿波連ビーチ』の認知が96%、訪れたスポットでは『阿波連ビーチ』は90%。

「5回以上」（44人）『阿波連ビーチ』の認知が98%、訪れたスポットでは『阿波連ビーチ』は84%となっている。

また「5回以上」では、『鯉節製造工場跡』以外は、すべての観光スポットが全体よりも10ポイント以上高くなっている。（P33及びP35グラフ参照）

居住地別では、「沖縄県外旅行者」（190人）『阿波連ビーチ』の認知が92%、訪れたスポットでは『阿波連ビーチ』は85%。

「沖縄県内旅行者」（51人）『阿波連ビーチ』の認知が98%、訪れたスポットでは『阿波連ビーチ』は92%となっている。（P34及びP36グラフ参照）

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

②アンケート調査（来島者向けアンケート調査）

【第一回 来島者向けアンケート調査 集計・調査結果】

■ 調査結果サマリー【渡嘉敷島での交通費・宿泊費と飲食費】

《渡嘉敷島の旅行費用》

交通費・宿泊費は、旅行日程によって異なる。5,000円未満の金額レンジが最も多く約4割。

全体（241人）で見ると、5,000円未満が43%、5,000円以上15,000円未満が30.3%、15,000円以上が27%となっている。（P37グラフ参照）
渡嘉敷島の旅行日程で、日帰り46%であったことを鑑みると、ほぼ日帰り旅行では交通費・宿泊費は5,000円以内がボリュームゾーンとなると思われる。

飲食費は1,000円以上3,000円未満がボリュームゾーン。

全体（241人）では、『1,000円以上～3,000円未満』が最も多く31%。次いで、『3,000円以上～5,000円未満』17%、となっている。

渡嘉敷島来島経験別では、

「初めて」（146人）及び「2回～4回」（51人）では『1,000円以上～3,000円未満』が最も多く、それぞれ「初めて」が34%、「2回～4回」31%となっている。
「5回以上」（44人）では『1,000円以上～3,000円未満』、『3,000円以上～5,000円未満』、『5,000円以上～10,000円未満』が18.2%と最も多い金額帯にバラツキがみられる。

居住地別では、

「沖縄県外旅行者」（190人）では『1,000円以上～3,000円未満』が最も多く30%。次いで『3,000円以上～5,000円未満』17%。
「沖縄県内旅行者」（51人）では『1,000円以上～3,000円未満』が最も多く33%。次いで『5,000円以上～10,000円未満』20%となっている。（P38グラフ参照）

■ 調査結果サマリー【渡嘉敷島でのスポーツアクティビティ等のレジャー費用とスポーツアクティビティ等のレジャー内容】

《渡嘉敷島の旅行費用》

スポーツアクティビティ等のレジャー費用はするか、しないかの両極端

全体（241人）では、『0円』が最も多く37%。次いで、『20,000円以上』15%となっている。
5,000円以上の合計で見ると37%となり、『0円』とほぼ同比率となる。⇒スポーツアクティビティ等の何かをするのか、しないのが明確に分かれている。

渡嘉敷島来島経験別では、

「5回以上」（44人）では『0円』と『20,000円以上』が25%で最も多い。特に『20,000円以上』では、全体よりも+15ポイント高い。

居住地別では、

「沖縄県内旅行者」（51人）では、『0円』が最も多く47%（全体よりも+10ポイント）となっている。（P39グラフ参照）

《渡嘉敷島で体験したスポーツアクティビティ等の内容》

渡嘉敷島で体験している定番のスポーツアクティビティは、シュノーケリング、ダイビング

全体では、『シュノーケリング』が最も多く、39%。
次いで『スポーツアクティビティ等のレジャー体験はしていない』27%、『ダイビング』26%となっている。

渡嘉敷島来島経験別では、

「初めて」（146人）が『シュノーケリング』38%、『スポーツアクティビティ等のレジャー体験はしていない』35%、『ダイビング』19%。
「2回～4回」（51人）が『シュノーケリング』37%、『ダイビング』28%、『スポーツアクティビティ等のレジャー体験はしていない』24%。
「5回以上」（44人）が『ダイビング』48%、次いで『シュノーケリング』43%、『その他』21%となっている。
「5回以上」では、ダイビングやシュノーケリング等のマリナクティビティを積極的に体験している。すなわち、マリナクティビティを体験するという目的をもって、渡嘉敷島に来ていることが伺える。（P41グラフ参照）

居住地別では、

「沖縄県外旅行者」（190人）では『シュノーケリング』41%、『ダイビング』30%、『スポーツアクティビティ等のレジャー体験はしていない』26%。
「沖縄県内旅行者」（51人）では『シュノーケリング』、『スポーツアクティビティ等のレジャー体験はしていない』31%となっている。（P41～42グラフ参照）

1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

②アンケート調査（来島者向けアンケート調査）

【第一回 来島者向けアンケート調査 集計・調査結果】

■ 調査結果サマリー【渡嘉敷島でのお土産費用と買わなかった理由】

《渡嘉敷島の旅行費用》

お土産は、買わない（買えない）で『0円』が4割。買っても1,000円前後がボリュームゾーン。

全体（241人）では、『0円』が最も多く40%。次いで、『1円～1,000円未満』25%となっている。

渡嘉敷島来島経験別では、
いずれも『0円』が最も多く「初めて」（146人）では39%、「2回～4回」（51人）では39%、「5回以上」（44人）では『0円』43%となっている。

居住地別では、
「沖縄県外旅行者」（190人）では、『0円』が最も多く40%。「沖縄県内旅行者」（51人）では、『0円』が最も多く39%となっている。（P40グラフ参照）

《渡嘉敷島のお土産を買わなかった理由》

お土産は、『時間がなくて買えなかった』5割、『もともと買うつもりがなかった』3割。

全体では、『時間がなかった』が最も多く、48%。次いで『もともと買うつもりがなかった』30%となっている。（P43～P44グラフ参照）

（※n=30未満の部分があるので、概要では全体だけで解説しています）

■ 調査結果サマリー【渡嘉敷島の旅行について（再来訪意向への要素）】

《再来訪意向》

全体としては、『おもてなし』の要素が【飲食施設】【宿泊施設】【フェリー乗り場】の満足度が高く、再来訪意向の要素として、影響が高いと思われる。

但し、【観光施設や体験施設】の満足度は低めのため、優先順位は低いものの、改善すべき項目となっている

※年代別の項目別平均値とQ25及びQ27の相関係数にて算出

※平均値は、とても満足5点、満足4点、どちらともいえない3点、やや不満2点、とても不満1点で得点化して算出

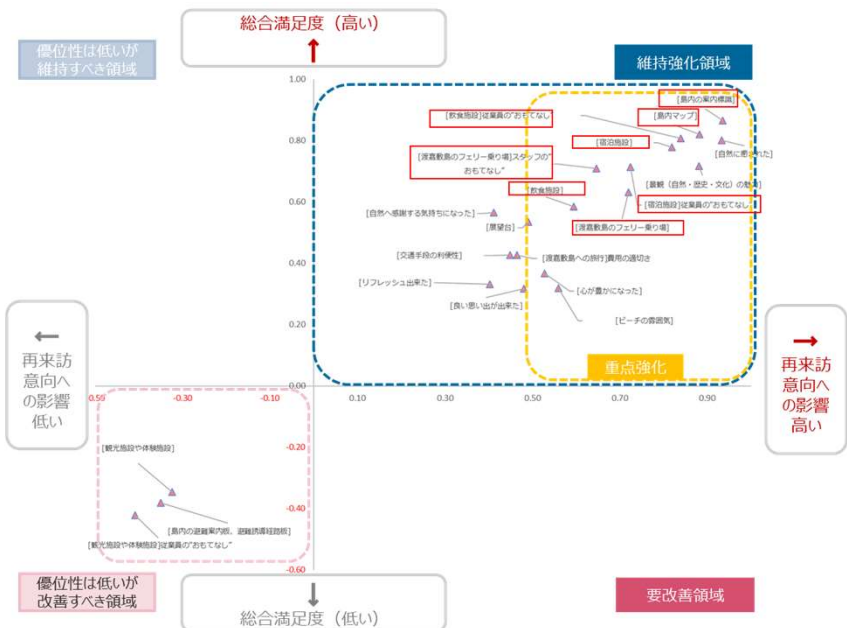
⇒各年代別の項目別平均値は次ページの掲載

但し、n=30に満たない年代はあくまでも参考値レベルです。

Q25 総合満足度（年代別）

年代別	n	満足度					平均
		とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満	
全体	241	181	57	3	0	0	4.74
	%	100.0	75.1	23.7	1.2	-	-
10歳未満	4	4	0	0	0	0	5.00
	%	100.0	100.0	-	-	-	-
10代	9	3	0	0	0	0	5.00
	%	100.0	100.0	-	-	-	-
20代	49	37	11	1	0	0	4.73
	%	100.0	75.5	22.4	2.0	-	-
30代	73	56	17	0	0	0	4.77
	%	100.0	76.7	23.3	-	-	-
40代	53	40	12	1	0	0	4.74
	%	100.0	75.5	22.6	1.9	-	-
50代	41	29	12	0	0	0	4.71
	%	100.0	70.7	29.3	-	-	-
60代	15	9	5	1	0	0	4.53
	%	100.0	60.0	33.3	6.7	-	-
70代以上	3	3	0	0	0	0	5.00
	%	100.0	100.0	-	-	-	-

※n=30未満は参考値



1. 観光受入体制整備 「渡嘉敷村観光ガイド育成ツール基礎資料作成」業務

②アンケート調査（来島者向けアンケート調査）

【第一回 来島者向けアンケート調査 集計・調査結果】

■ 調査結果サマリー【年代別 満足度平均値（Q23及びQ26、Q25、Q27）】

	Q23S1	Q23S2	Q23S3	Q23S4	Q23S5	Q23S6	Q23_2S1	Q23_2S2	Q23_2S3	Q23_2S4	Q23_2S5	Q23_2S6	Q23_2S7	Q23_2S8	Q23_2S9	Q23_2S10
	[交通手段の利便性]	[渡嘉敷島のフリー乗り場]	[渡嘉敷島のフリー乗り場]スタッフの"おもてなし"	[渡嘉敷島への旅行]費用の適切さ	[景観（自然・歴史・文化）の魅力]	[ビーチの雰囲気]	[飲食施設]	[飲食施設]従業員の"おもてなし"	[展望台]	[観光施設や体験施設]	[観光施設や体験施設]従業員の"おもてなし"	[宿泊施設]	[宿泊施設]従業員の"おもてなし"	[島内マップ]	[島内の案内標識]	[島内の避難案内板、避難誘導経路板]
10歳未満	4.50	4.75	4.75	4.50	4.75	4.50	4.00	4.50	4.50	4.25	4.25	4.25	4.33	4.50	4.50	4.50
10代	4.67	4.33	5.00	4.67	5.00	5.00	5.00	5.00	4.50	5.00	4.67	5.00	5.00	4.50	4.67	4.00
20代	3.65	4.18	4.29	4.29	4.65	4.71	4.13	4.23	4.09	4.45	4.54	4.15	4.24	4.03	4.14	4.04
30代	3.68	4.29	4.11	4.18	4.73	4.79	4.24	4.39	4.28	4.29	4.33	4.22	4.33	4.17	4.16	4.16
40代	3.75	3.89	4.02	3.98	4.60	4.70	4.20	4.35	4.30	4.27	4.37	4.26	4.39	4.34	4.06	3.97
50代	3.88	4.12	4.10	3.93	4.39	4.46	4.22	4.34	4.13	4.24	4.32	4.25	4.29	4.32	4.00	4.12
60代	3.27	4.07	4.33	4.20	4.40	4.27	4.13	4.20	4.56	4.00	4.25	3.83	4.25	3.71	3.75	3.75
70代以上	3.00	4.33	4.33	4.00	5.00	4.67	5.00	5.00	5.00	0.00	0.00	5.00	5.00	4.50	5.00	0.00

	Q26S1	Q26S2	Q26S3	Q26S4	Q26S5
	[自然に癒された]	[リフレッシュ出来た]	[心が豊かになった]	[良い思い出が出来た]	[自然へ感謝する気持ちになった]
10歳未満	5.0	5.0	4.5	5.0	4.8
10代	5.0	4.7	5.0	5.0	4.7
20代	4.9	4.8	4.8	4.9	4.6
30代	4.9	4.8	4.7	4.9	4.6
40代	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7
50代	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6
60代	4.7	4.8	4.3	4.7	4.7
70代以上	5.0	5.0	4.7	4.7	4.7

	Q25	Q27
	総合満足度	渡嘉敷島への再来訪意向
10歳未満	5.00	5.00
10代	5.00	5.00
20代	4.73	4.78
30代	4.77	4.66
40代	4.74	4.77
50代	4.71	4.80
60代	4.53	4.67
70代以上	5.00	5.00

※ n 数 = 30未満は参考値

※満足度についての詳細グラフはP49～58を参照